



# 〇〇地区タイムライン



災害から身を守るために、避難を考えるタイミングの手がかりとして、活用してください(作成年月:令和〇年〇月)



避難場所の確認  
避難経路の確認  
防災グッズを準備

いつでも避難行動に移れるように準備する。

【避難情報の入手方法】  
テレビのdボタン、緊急速報メール(エリアメール)、  
広報車 等

災害時要配慮者・早めに避難する方は、避難を開始!  
指定緊急避難場所の【 】へ避難しましょう。

直ちに、指定緊急避難場所の【 】へ避難を開始!  
(注3)

ただちに命を守る行動を!  
(注4)



気象・防災情報等の確認  
水位観測所【 】  
雨量観測所【 】

地域の動きを記載

地域の動きを記載

(注1)気象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって異なります。  
(注2)気象状況に応じて、高齢者等避難の発令を早める、もしくは避難指示を発令する場合があります。  
(注3)すでに避難経路が浸水していたり、夜間で十分な視界が確保できない場合は、無理な避難を避け、自宅の2階といった高い場所へ垂直避難を行いましょう。  
(注4)生命を守るための最善の行動をとってください。